

慢性血液透析患者における肺癌切除成績に関する 多施設後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2007年1月1日から2016年12月31日までに当院において、慢性血液透析を受けておられ、肺癌切除術を施行された方。

2. 研究目的・方法

近年、血液透析を受けておられる患者さんの割合は、透析技術の進歩や透析導入患者さんの高齢などにより増加傾向にあります。「わが国の慢性透析療法の現況（2015年12月31日現在）」による透析患者の死亡原因は感染症、心不全、悪性腫瘍、脳血管障害の順です。肺癌による死亡は、悪性腫瘍中の第1位で、現在もなお増加の一途をたどっています。今後、血液透析を受けている患者の肺癌切除症例の増加が予測されていますが、一方で血液透析を受けている患者さんの肺癌手術では術後合併症が高頻度に起こると報告されています。そこで、大阪大学の関連施設で、これまでに血液透析を受けておられる患者さんが肺がんのために手術を受けられ、実際にどのような治療が行われ、効果はどうであったかを調べることを目的として研究を計画しました。この研究により、将来血液透析を受けている患者さんがおられた場合に、どのような点に注意して治療を計画したほうがいいのかを決定するひとつの指標になることが期待されます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で利用する情報は登録されている臨床情報です（性別、年齢、既往歴、その他の併存症の有無、術前治療の有無、術前の病理診断の有無、手術日、組織型、病期、手術術式、切除根治性、周術期合併症の有無、補助療法の有無、化学療法の内容、放射線治療の内容、最終確認日、転帰、再発部位、再発後治療など）。試料は利用しません。

4. 外部への情報の提供

データセンター(大阪大学呼吸器外科)へのデータの提供は、匿名化されており特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

本研究に参加することを拒否する患者さまは下記へ連絡を下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

JCHO 大阪病院 外科

呼吸器外科担当部長 岩崎 輝夫

住所：大阪市福島区福島 4-2-78 電話番号：06-6441-5451

研究総括責任者

大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学

教授 新谷 康

住所：吹田市山田丘 L2-2(L5) 電話番号：06-6879-3152